

府中市が実施している 交通安全啓発事業等

生活環境部地域安全対策課

(4月) 交通安全市民のつどい

趣旨

全国交通安全運動の一環として、昭和43年度から開催しています。

内容

- 交通安全啓発
- 交通安全コンクール表彰
(作文208・標語991・ポスター173)
- 交通安全功労表彰
- 交通安全都市宣言
- アトラクション※落語・劇など

参加 約200名

主催 市・警察・交通安全協会



(5月) 小学生・高齢者 自転車競技大会

趣旨

子供と高齢者の交通事故防止の一環として、各学校、各地区老人クラブ連合会代表等による自転車競技大会を開催し、自転車の安全な運転及び交通ルールとマナー習熟度を競います。(平成7年度から)



対象 小学生・老人クラブ連合会等
参加 約150名
主催 市・警察・交通安全協会

(年2回) スケアードストレイト



スケアードストレイトの意味

「**恐怖の直視**」

目的

交通事故の疑似体験を通じ、交通ルールやマナーの遵守の重要性を認識させ、自転車等の安全利用を図ります。(平成21年度から実施)

- 対象 市内中学生
- 実績 毎年2校実施
- ※26年度は1中・2中で実施
- 主催 市
- 協力 警察
- 参考 27年度は4校実施予定



(通年) 幼児交通安全教室



目的

就学前の3・4・5歳児の幼児を対象として、保護者、先生とともに交通安全に対する認識を深め、正しい交通ルールを身につけさせます。

(平成15年度から実施)

内容

交通安全DVDの上映・警察官による安全講話・歩行訓練・交通指導



実施状況

平成23年度	32施設	4,205人
平成24年度	36施設	4,916人
平成25年度	35施設	4,026人

その他交通安全啓発事業①

注意立看板の設置

市民の方々から、設置要望があった場合は、現地を調査し、必要に応じた、注意を促す立看板を設置します。



交通安全啓発グッズの配布

新入学児童用の黄色帽子の配布や、春・秋の交通安全運動中や、交通安全市民のつどいなどのイベントで交通安全啓発グッズを配布し、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めています。



その他交通安全啓発事業②

メール配信サービスによる 情報提供

事前にご登録いただいた市民の方を対象に、防犯情報や交通安全情報などを配信しています。教育委員会では、不審者情報も発信しています。（平成17年12月開始 登録者数約15,000人）

安全・安心専門新聞「ニュースまちかど」の作成

地域安全対策課が独自に作成し、自治会回覧でお知らせしている広報紙です。警察からの最新情報などを中心に、交通安全情報や防犯情報を提供しています。（年4回発行）



ニュース〜まちかど

市内 26年1月1日～11月30日現在、交通事故死者数

0

人

中・警察・交通関係ボランティアの連携による各種交通安全対策をはじめ、この結果をもたせているのは、市民のみならず、交通安全に対するご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。

年末年始は、交通事故が増加傾向であり、さらに厳寒期は降雪や路面の凍結など交通事故を誘発する要因が増加します。ドライバー（反射材）の装着や視界不良や凍結を心配するなどの自己防衛に努めるとともに地域の高齢者や子どもの保護活動にも努め、交通安全のまち府中3を実現させましょう。

☆府中市・隣接市 交通事故発生状況の比較表 (0126年1月～10月末)

発生件数	死者数	重傷者数	軽傷者数	
府中市	502件	0人	4人	582人
瀬都市	456件	1人	2人	510人
三鷹市	327件	1人	2人	372人
武蔵野市	373件	1人	3人	400人
小金井市	181件	1人	0人	203人

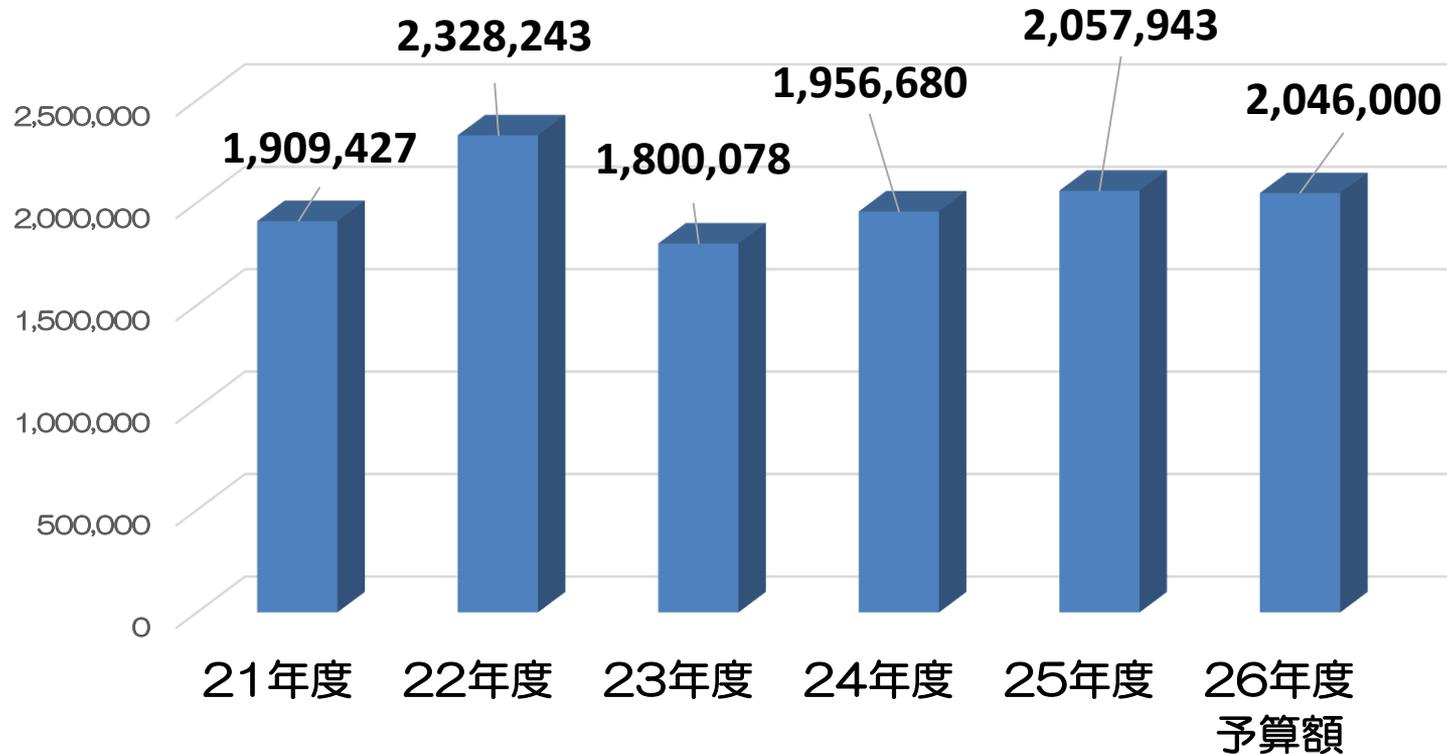
上記の表から分かるのは、死亡事故は発生していないものの、負傷者は他市よりも発生件数においては、東京都の市郡で八王子市・町田市・交川市に次いで4番目の発生件数となります。

※本表は府中市の交通安全対策課より提供されたものです。

郡内・市内とは二輪車者・自転車者も事故発生要因として多いことから、必ずヘルメットを着用し、交通ルールを守り、安全運転を心がけてください。また、子どもは必ず安全な自転車に乗せ、安全な乗車方法を指導し、子どもの交通安全は大人の責任から守り、そして全ての交通安全に繋がります。



交通安全啓発事業費決算額



交通安全啓発事業費の主な内訳についてですが、平成25年度では、新入学児童用黄色の帽子購入費約2,500枚で80万円。スケアードストリート2回分で約50万円。交通安全市民のつどい開催費約25万円。立看板作成費約20万円となっており、これらで全体費の約85%を占めております。

路面標示等対策 & 自転車駐車対策

生活環境部地域安全対策課

いろいろな路面表示等対策

概要

市道における交通事故防止対策。交通量の多い市道や学校周辺の市道にカラー舗装やゼブラ舗装など施し、視覚的に注意を促すことで、交通事故防止を図ります。

その他、区画線補修・交差点注意点減器なども設置しています。



カラー舗装&ゼブラ舗装

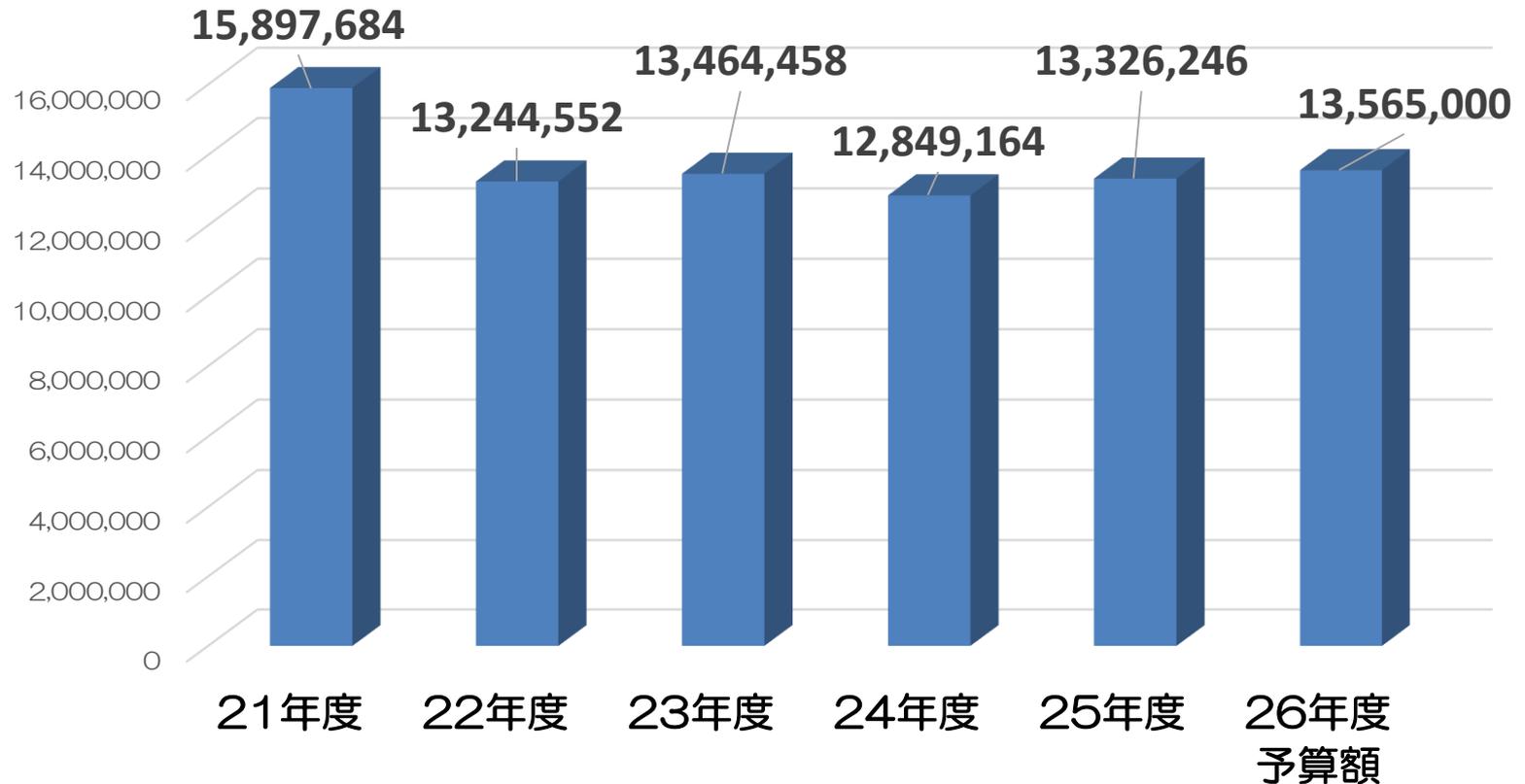


イメージハンプ



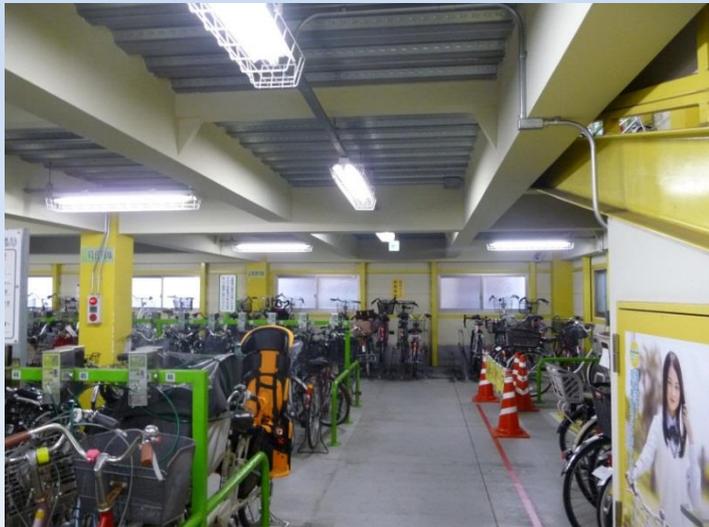
区画線&路側帯カラー舗装

路面表示等施行費



路面表示等施行費の主な内訳についてですが、平成25年度では、区画線の補修等で約430万円、路側帯カラー舗装で約210万円、丁・十字カラー舗装で約180万円、通学路カラー舗装で約130万円、自転車ストップマーク設置で約80万円となっており、これらで全体費の約75%を占めております。

自転車駐車対策（自転車駐車場）



目的

放置自転車対策を行うことで、歩行者の通行・自転車走行空間を確保し、交通渋滞や交通事故を防ぎ、安全で快適な市民生活を確保することを目的としています。



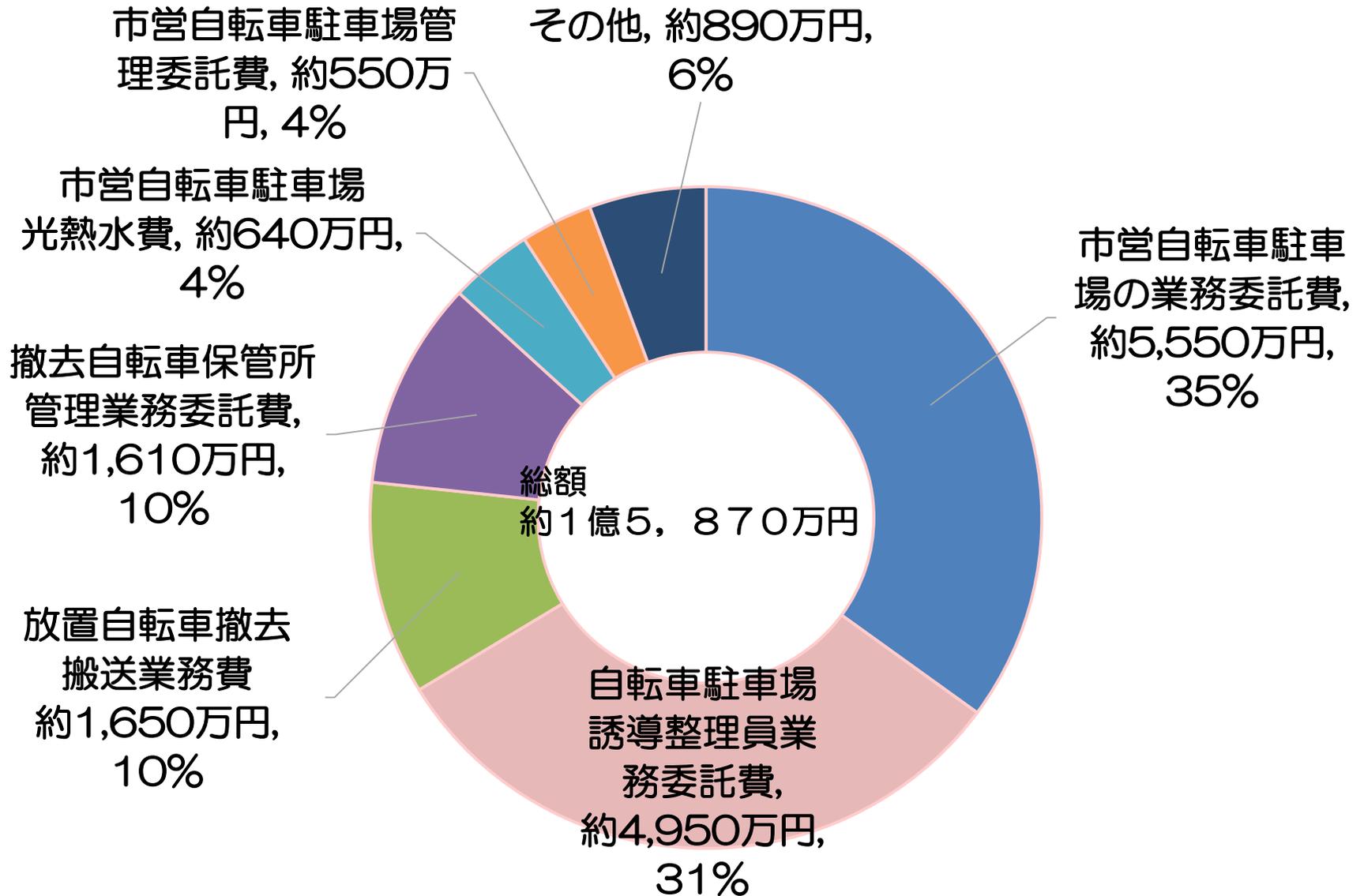
事業規模

自転車駐車場	40箇所
総収容台数	21,830台

その他

- ・ちょこりんスポットの管理運営
- ・放置自転車撤去・保管・返還など

平成25年度自転車駐車関係対策費



ご清聴ありがとうございました

生活環境部地域安全対策課

